

口腔ケア支援ソフト

はっするでんたー for iPad

はっするでんたーとは？



治療過程や器具に対して、不安からパニックを起こしやすい発達障害者の行動特性に併せて、治療の経過や器具の説明など、丁寧な解説を行い治療の不安を軽減することを目的とした歯科治療の困難を軽減する支援機器です。

歯科治療
の支援

支援学校
の療育

療育
センター

家庭での
事前予習

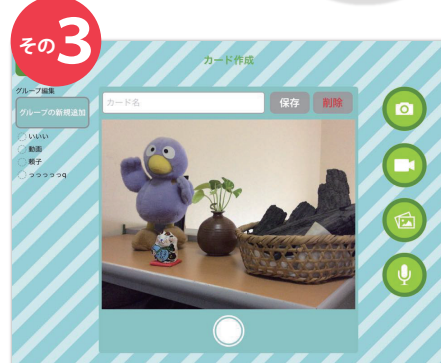
はっするでんたーの特長



キャラクターが治療を応援したり、さまざまな褒め方でサポートする機能があります。



早さの違う3パターンで10カウントを行い、治療時間を把握してもらうことができます。



カメラ機能を使って写真はもちろん、動画ファイルも制作可能。治療器具の操作音を録音し、事前に伝えられます。



専門医療機関が制作した豊富な絵カードを初期状態から導入しています。



カードセットを自由に作成、編集可能。患者ごとにカードを組み合わせ保存ができます。



患者ごとに作成されたカードセットが、全部で何枚なのか？また、今が何枚目なのか？電球アイコンで表示されます。

オプション機器

はっするでんたーを歯科医院で、より便利に活用するためのオプション機器を用意しています。絵カード送りボタンスイッチは、医師や患者が iPad 本体に触れることなく画面遷移を行えるように、Bluetooth 通信でカード送りをするワイヤレスボタンスイッチです。また、プロテクターケースは、耐久性、耐水性を備えており、iPad に強い力が加えられても機器を保護します。



▲ 絵カード送り
ボタンスイッチ

◀ プロテクター
ケース



監修医師からのコメント



専用のキャラクターを設けて、そのキャラクターと共に「一緒に頑張る」というストーリーは分かりやすいです。発達障害者の歯科治療にとって必要な「スモールステップ化したオリエンテーション」という治療方法にはとても適したツールだと思います。現在の治療でも実際に患者がタブレットなどを持参して、保護者が治療過程をデジタル絵カードで伝えている方もいます。そのような障害当事者の家族にとっては有効的なツールになるのではないかと期待できます。

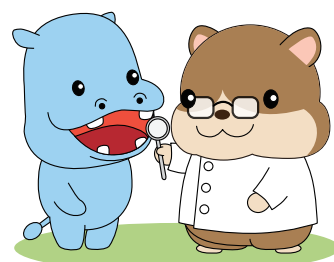
現場の声

- ・子どもが非常に興味と関心を持った。自分で操作をしたかった。
- ・操作が簡単で直感的。カードに使う写真や動画の撮影機能も便利。
- ・支援学校の授業中に、医療現場での治療状態の説明教材として活用できそう。
- ・発達障害のある人たちだけでなく、小児などの歯科治療支援としても応用できるのでは？
- ・患者自身に操作させることにより、治療の達成感を自分で感じてもらうこともできる。
- ・自閉症など感覚過敏の人は海外にも大勢いる。多言語バージョンの開発を強く期待したい。
- ・今の子どもたちはタブレットに慣れているので、ゲーム感覚で遊びながら治療内容を把握できる。



監修・協力機関

- ・日本障害者歯科学会 副理事長 緒方 克也先生
- ・岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センター 教授 江草 正彦先生
- ・長崎県口腔保健センター 診療部長 長田 豊先生
- ・日本大学松戸歯学部附属病院 特殊歯科 歯学博士 伊藤 政之先生
- ・大阪大学歯学部附属病院 障害者歯科治療部 助教 村上 旬平先生
- ・静岡県立こども病院 作業療法士兼日本発達系作業療法学会副会長 鴨下 賢一先生
- ・長崎大学 大学院医歯薬学総合研究科 医学博士 准教授 岩永 竜一郎先生
- ・米国コミュニケーションセラピスト カニングハム 久子先生 他、たくさんの皆様



はっするでんたー公式ホームページ <http://www.hustledentor.com>

『Made In Japan』の『ものづくり』に“情熱”と“こだわり”を持ち続ける企業をめざしております。